

令和4年度指定管理者評価調書

施設所管課	政策企画部政策企画課公共交通対策室	評価者職氏名	室長 阿部記之	評価日	令和5年6月23日
-------	-------------------	--------	---------	-----	-----------

施設名称	江刺ターミナルプラザ	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市観光物産協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	バス利用者の利便性の向上、交流人口の拡大及び観光物産の振興を図るため、地域公共交通の拠点及び観光物産資源を活用した情報発信の拠点として、江刺バスセンター及びイベント広場から成る江刺ターミナルプラザを設置する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ターミナルプラザ 鉄骨造2階建（蔵風造） 延床面積568.71㎡ 1階：市民ラウンジ、インフォメーション、会議室、事務室、トイレ 2階：多目的ホール イベント広場550㎡ 駐車場31台 駐輪場	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利 用 状 況	施設名	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	前年対比(%)	3
	多目的ホール	1,870	623	3	86	2866.7	
	会議室	1,253	680	330	385	116.7	
	(計)	3,123	1,303	333	471	141.4	
	〔利用者の増減理由〕						
	前年と異なり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための貸室休止期間がなく、通年で貸出できたことが利用者の増加につながった。ただし、新型コロナにより単純比較はできないことから3の評価とした						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R4年度指定管理者収支					市の収支				
		項目	公の施設分	自主事業分	計		R4年度決算額		市直営決算 (H22年度)	
	収入	指定管理料	12, 151, 000		12, 151, 000	歳入	使用料	109, 848	使用料	545, 059
		利用料金	54, 100		54, 100		賃貸料		賃貸料	0
		自主事業			0		その他		その他	0
		雑収入	240, 293		240, 293					
		計	12, 445, 393	0	12, 445, 393		計 (A)	109, 848	計 (A)	545, 059
	支出	人件費	4, 372, 133		4, 372, 133	歳出 ※経 常的	指定管理料	12, 151, 000	人件費	4, 344, 801
		需用費	2, 489, 783		2, 489, 783		委託料		委託料	3, 009, 493
		役務費	169, 561		169, 561		需用費		需用費	41, 338
		委託料	4, 181, 958		4, 181, 958		その他		その他	25, 520
		使用料・賃借料	82, 900		82, 900		計 (B)	12, 151, 000	計 (B)	7, 421, 152
		租税公課	1, 105, 036		1, 105, 036	支出 (B-A)		12, 041, 152	支出 (B-A)	6, 876, 093
その他諸費		78, 788		78, 788	歳出 ※臨 時的	維持修繕費	548, 900	維持修繕費	2, 725, 896	
						備品購入費		備品購入費		
計		12, 480, 159	0	12, 480, 159		計 (C)	548, 900	計 (C)	2, 725, 896	
損益	△ 34, 766	0	△ 34, 766	支出 (B+C-A)		12, 590, 052	支出 (B+C-A)	9, 601, 989		
職員配置	常勤職員		1 人	市の正職員		0.5 人				
	非常勤職員		5 人	市の臨時・非常勤職員		人				

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額				
	56,500	2,400	54,100				
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		35.0 %	R4年度 指定管理者損益	△ 34,766 円	評価	
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		25,798.3 円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	
行 革 効 果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕		△ 5,165,059 円	
	行革効果額の大幅マイナスは、令和元年度から人件費算定を増加したこと、直営当時の経費算定と現状の置かれた条件が大幅に異なることが原因である。また、令和2年度末に江刺観光物産センター（R2委託料4,282千円）を廃止、その機能を移設し、複合化を図ったことで職員数の増となったものであり、効果額として単純評価はできないことから3の評価とした			〔行革効果額の積算根拠〕			
					R4	R3	比較
				直営支出額	6,876,093	6,876,093	0
				市支出額	12,041,152	11,887,545	153,607
				効果額	△ 5,165,059	△ 5,011,452	△ 153,607
					評価		
					3		

3 事業の実施状況

区 分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務 使用許可に関する業務 施設の維持・管理に関する業務 使用料の徴収に関する業務ほか仕様書に定める業務	○		3
自主事業	江刺地域内のまつり、イベント関連の企画展 市観光写真コンクール受賞作品展示 バス利用促進事業	○	江刺甚句まつり歴代ポスター掲示、奥州市 観光写真コンクール入賞作品展の実施 バス利用促進事業として、市内の主要観光 地を巡回するバス（奥州観光バス）の運行 （7月～9月の日曜日）	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	市の指示を待たずに施設管理者が積極的に状況をまとめて改善提案が行われている。	○	4
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	同上	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	委託業者により清潔に保たれている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	室温をこまめに調整し、電気の使用量を減少させている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	建物損害保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	敷地内の草刈りや枝打ち等が適時に行われている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正に対応している。	○	4
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	施設内の掲示板、広報誌「えさし夢づらざだより」等により関係団体への利用促進などに取り組んでいる。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	交代制で常時、窓口職員が確保されている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	軽微な苦情や要望でも積極的に対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画どおり実施されている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定に基づく定期報告のほか、随時報告も積極的で、市との情報共有に努めている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護に関する法律及び市個人情報保護条例の規定に則り、適正に対応している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	専門業者により実施されている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	夜間の機械警備を含め、必ず管理された体制になっている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故発生時の協会内、市への通報手順が定められている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時の協会内、市、関係機関への連絡体制や役割分担が定められている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	令和4年12月13日、令和5年3月14日に実施	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	常時、「お客様の声」記入用紙を施設内に備え置き、利用者の要望や意見の把握に努めている。また、利用者からの苦情等については、窓口、電話、書面などで随時受け付けている。	3
		調査結果	窓口対応や施設改善など軽微な意見や苦情は、即日改善策を実施した。「お客様の声」に対しては、解決に時間を要する、あるいは困難な内容については、市担当課や指定管理者が回答を作成して掲示した。	
	要望・苦情等	良好とする評価	特になし	
		苦情・改善要望等	・施設発着の市営バス路線に関するもの	

6 総合評価

施設評価		評価区分	評価	総合評価
総合評価	1	施設の利用状況	3	3
	2	経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2	経費等の状況 (行革効果)	3	
	3	事業の実施状況	3	
	4	業務の実施状況	4	
	①	施設の維持管理	4	
	②	サービスの向上	4	
	③	危機管理対策	3	
	5	利用者評価	3	
	評価理由		新型コロナウイルスの影響でバス利用者が減少、それに伴って施設利用者も減少となるところであったが、令和3年度から他施設廃止により観光物産振興機能を当施設に付加したことで、施設全体の利用者数一日平均70人前後と多くの市民に利用されている。 以前より、利用者から軽飲食を望む声が寄せられており、機能付加された物産販売でニーズに応えられた。また、「えさし夢プラザ」目当ての利用客が、バス運行を目にしてバス利用に繋がったケースもあり、相乗効果が表れてきていることから、良好に管理運営されていると評価する。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	コロナの影響により、観光振興としての情報発信・自主事業実施は不足していた。感染状況を踏まえたうえで事業実施に取り組んでいきたい。	観光振興としての自主事業（奥州観光バス）が実施され、ターミナルプラザ及びバスの利用を促進することができた。	施設の貸室に関し、コロナ前の状況には戻っていない。施設利用を控えた定期利用団体の利用再開を促していきたい。

令和4年度指定管理者評価調書

施設所管課	政策企画部未来羅針盤課	評価者職氏名	主幹 佐藤 裕恵	評価日	令和5年6月21日
-------	-------------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	水沢地域交流館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	奥州市国際交流協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の主体的な地域活動及び国際交流並びに情報交換の場として一般の使用に供し、もって地域交流及び国際交流の推進を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	サロン、会議室、和室、事務室、調理室	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

	施設名	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	前年対比(%)	評価
利用状況	水沢地域交流館利用者	10,954	6,978	5,545	7,241	130.6	3
	(計)	10,954	6,978	5,545	7,241	130.6	
	〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルス感染症拡大による利用規制については、感染拡大防止対策を取りながら解除したことにより、市民の利用者が徐々に回復したことによる。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R4年度指定管理者収支					市の収支					
		項目	公の施設分	自主事業分	計		R4年度決算額		市直営決算 (H17年度)		
	収入	指定管理料	7, 803, 000			7, 803, 000	歳入	使用料	0	使用料	58, 190
		利用料金	254, 600			254, 600		賃貸料	0	賃貸料	0
		自主事業			206, 700	206, 700		その他	0	その他	0
		雑収入	86, 437			86, 437					
		計	8, 144, 037		206, 700	8, 350, 737		計 (A)	0	計 (A)	58, 190
	支出	人件費	5, 100, 098			5, 100, 098	歳出 ※経常的	指定管理料	7, 803, 000	人件費	1, 303, 440
		需用費	1, 097, 827	192, 873		1, 290, 700		委託料		委託料	2, 907, 000
		役務費	140, 035			140, 035		需用費		需用費	
委託料		1, 362, 218			1, 362, 218	その他		36, 960	その他	5, 059, 051	
使用料・賃借料		366, 539			366, 539	計 (B)		7, 839, 960	計 (B)	9, 269, 491	
租税公課		0			0	支出 (B-A)		7, 839, 960	支出 (B-A)	9, 211, 301	
その他諸費		4, 643			4, 643	歳出 ※臨時的	維持修繕費	95, 370	維持修繕費		
							備品購入費		備品購入費		
							計 (C)	95, 370	計 (C)	0	
計	8, 071, 360	192, 873		8, 264, 233	支出 (B+C-A)		7, 935, 330	支出 (B+C-A)	9, 211, 301		
損益		72, 677	13, 827		86, 504						
職員配置	常勤職員		1 人		市の正職員		0.15 人				
	非常勤職員		1 人		市の臨時・非常勤職員		0 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額		減免対象額		実収入額						
	332, 700		78, 100		254, 600						
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			63.2 %		R4年度 指定管理者損益		86, 504 円		評価	
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			1, 077.6 円		事業目的に適合しない支出等の有無				なし	3
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕		1, 371, 341 円			評価	
					〔行革効果額の積算根拠〕					4	
	物価上昇にも関わらず、平成17年度決算の範囲内に収まっており、指定管理制度導入による効果が現れている。					R4	R3	比較			
					直営支出額	9, 211, 301	9, 211, 301	0			
					市支出額	7, 839, 960	7, 839, 960	0			
					効果額	1, 371, 341	1, 371, 341	0			

3 事業の実施状況

区 分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・運営に関する業務 ・管理に関する業務 ・自主事業に関する業務 ・その他の業務	○		3
自 主 事 業	・日高火防災無料休憩所 ・アスパシアまつり ・花づくり教室 ・レコードカフェ	△	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日高火防災無料休憩所及びアスパシアまつりは中止、花づくり教室及びレコードカフェは予定どおり開催した。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	2
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	一部計画していた自主事業が実施できなかった。	△	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	利用状況の定期報告について、一部提出の遅れが見られた。	△	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	利用団体懇談会の実施、アンケートボックスの設置	3
		調査結果	定期的に開催している利用団体懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたため、アンケートボックスを設置する方法で利用者へのアンケートを実施したが、特段の指摘はなかった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	指摘事項なし	
		苦情・改善要望等	特になし	

6 総合評価

施設評価		総合評価	
総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	3	
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	2	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げている。 ・施設の特性を生かした自主事業の取組は、一部新型コロナウイルス感染症拡大により未実施であったが、施設の設置目的でもある「まちづくり、国際交流」に貢献している。 ・災害、事故など発生時の対応が迅速であり、マニュアル等に基づき関係機関への連絡が行われている点は評価できる。 ・アンケートを通じて利用者から聞き取りを行い、快適な利用環境に向けて努力しており、指定管理者として適切な事業運営がなされている。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	なし	なし	なし